

VISION BOOK

新・いわき湯本温泉

まちづくりビジョンブック PR版



目次

私たちのまち いわき湯本温泉の まちづくりが始まる！	03
-------------------------------	----

2030 年に向けて	04
魅力的なまち 豊かなまち	05

1 まちづくりのビジョン	06
---------------------	----

ビジョンの上にまちができる	06
ビジョンってなんだろう	06
このまちの特徴は？	07
もっと居場所が欲しい	07
居場所はどうやったらできるの？	08
まちづくりのビジョン	08

2 新しいまちはどうなる？	10
----------------------	----

マイプレイスのエリア分けとイメージ	10
-------------------	----

エリア① 駅前広場・交流拠点	12
エリア② 駅前緑地周辺	17
エリア③ みゆき山	18
エリア④ 軌道みち	21
エリア⑤ 支所跡地・温泉神社周辺	22
エリア⑥ 表町通り・裏町通り	24

3 まちづくりのこれまでとこれから	28
--------------------------	----

データでみるいわき湯本温泉	30
---------------	----

ビジョンブックについて

この冊子は、地域と行政がまちづくりの考え方を共有することを目的に作成しました。

「ビジョンブック」は、今後もまちづくりの進展に合わせて改定を重ねていきます。

まちづくりの土台である「ビジョンブック」に立ち返りながら、地域・行政が力を合わせて計画を推進していきます。

私たちのまち いわき湯本温泉の まちづくりが 始まる！



湯本のみなさんへ

この冊子に書かれている文章、イラストは、まちづくりのためのワークショップを元につくられました。まちづくりについてもっと知ってもらいたい。そして、参加したい、楽しみたい、と思ったら、それぞれのやりかたでまちづくりの一員になることができます。

新しいまちを想像して、形作られていく様子を楽しむだけでも、立派なまちづくり隊の一員です。私たちのまちづくりはまだ始まったばかり。みなさんの参加をお待ちしております。

いま湯本で、新しいまちづくりがはじまっていることを知っていますか？

2030 年に向けて、駅前広場・みゆき山・温泉神社周辺を拠点とし、まちは大きく変わろうとしています。

湯本のまちは、震災とコロナで大きな打撃を受けました。

どうしたらもう一度、活気を取り戻せるか？

それはどんな活気なのか？

人口減少など多くの問題を抱えながら、まちはどう続いていくのか？

そもそも私たちは、どんなまちに暮らしたいのか？

外から訪れる人に、湯本のどんな良いところを知って欲しいのか？

そんなことを考えるためのワークショップを、湯本の住民有志といわき市役所とともに開きました。

そこで話し合われた「新しい湯本のまちの姿」を、

この冊子を通して、一緒に見ていきましょう。

そして、一緒に考えていきましょう。

詳しくは
P30 をどうぞ



いわき湯本温泉をこれから知る人たちへ

1300 年の歴史がある温泉、そして映画「フラガール」の舞台で炭鉱があったまち、いわき湯本温泉へようこそ。

私たちのまちづくりは、自分たちが住みやすく、訪れてくれた人にも好きになってもらえる、そんなまちにしたいという想いがあります。

湯本の人たちが見ている未来の風景を、この冊子でご紹介します。

2030 年に向けて

2030 年に向けて、いわき湯本温泉は 3 つの日帰り温浴施設の開設を目指しています。
この 3 つの温泉を結んだ三角地を中心に魅力的なまちをつくっていかう！
これが出発点でした。

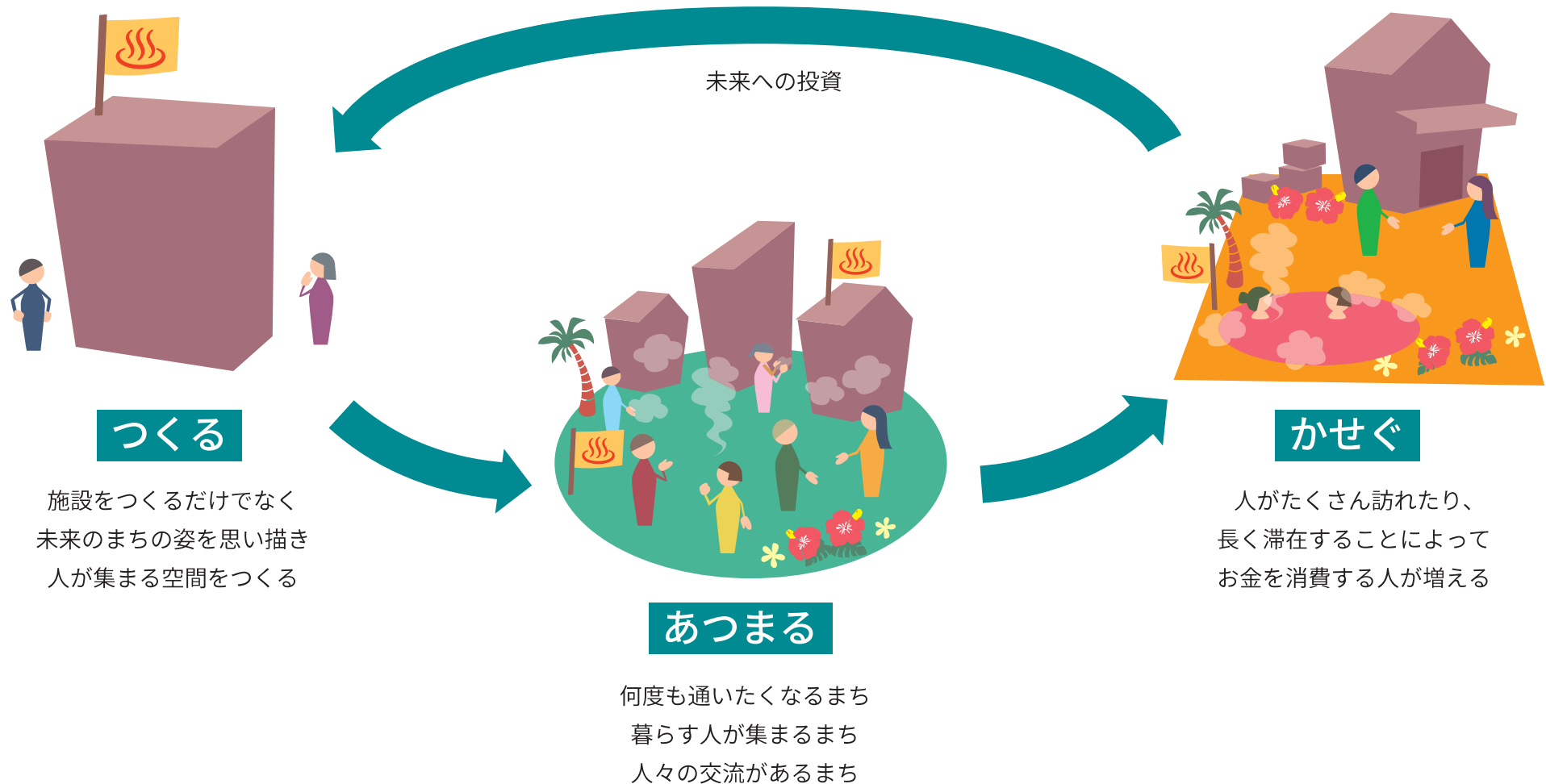


魅力的なまち 豊かなまち

では、魅力的なまちとはどんなところなのでしょうか。

施設をつくるだけで豊かになるのでしょうか。

つくって終わり……にならないために、持続的にまちが変わっていくことが大事です。



まちづくりの ビジョン

ビジョンの上にまちができる

まちは多くの人によって構成されています。住民、企業、行政。それぞれが違う視点、違う思いを持っています。

みんながバラバラにまちの運営を始めたらどうなるでしょうか。

それでもまちは成立します。でも、多くの人が行ってみたいくなるような「魅力的なまち」にはならないかもしれません。

私たちのまちが魅力的になるように、まずはビジョンを発見するところから始めることにしました。

ビジョンってなんだろう？

ビジョンとは、まちづくりのよりどころとなる「土台」です。

まちはこの先、何十年、何百年と続いていきます。望まれるまちの姿は時代によって変化しますが、理想のまちを思い描くことは大切なことです。

いわき湯本温泉の魅力は何でしょうか。ほかとは違うところはどこでしょう。これを再発見し、まちのみんなで共有する。これが、まちづくりのスタート地点です。

そしてそのビジョンを土台として、まちをどう変えていきたいのか、みんなで考えてみました。



このまちの特徴は？

まちづくり専門家も交えてのワークショップ。さまざまな人たちから、たくさんの意見が出ました。その結果、みんなの考えるまちの特徴は大きく分けて3つになりました。

歴史ある温泉街であること。そして炭鉱の町として栄えた時代があること。そのあとにフラ文化が生まれたこと。

この3つの特徴に新しいアイデアをプラスして、東北一の温泉地、いわき湯本温泉にしていこう！と、スタート地点が決まりつつあったところ、もうひとつの声が出てきました。

もっと居場所が欲しい

「子供と遊べる広場が欲しい」「家族と過ごすカフェがもっと欲しい」「お店をやりたい」「友人を連れて行きたくなるレストランがあれば」

湯本で暮らす人たちのなかに、もっとまちなかに「居場所」が欲しいという思いがあったのです。

そして「私が好きな湯本」を未来に残していくこと、新しく自分たちでつくっていくことも大事です。

温泉



開湯は奈良時代。1300年の歴史があり、道後温泉・有馬温泉とともに「日本三古泉」のひとつ

炭鉱



明治中頃から昭和40年代まで炭鉱のまちとして繁栄

フラ



日本のフラ文化発祥の地 映画「フラガール」の舞台

また「私の好きな場所」の話はみんな楽しく話せるのに「湯本らしい場所」となると意見がバラバラになってしまう。湯本に愛があるからこそ、みんなの思いもそれぞれだからです。

それならば、同じ場所にそれぞれの居場所があればいいのでは？

3つの特徴を大事にしながらも、足りないものはつくり、それぞれの居場所も欲しい。こうしてビジョンがだんだんと固まってきました。



居場所はどうやったらできるの？

私たちが望むのは、ただの場所ではなく、ひとりひとりの居場所になるところ。そこで何かを体験できる（アクティビティがある）ところです。

そういう場所を「プレイス」と呼ぶことにしました。

プレイスはみんなと私がつながるところなのです。

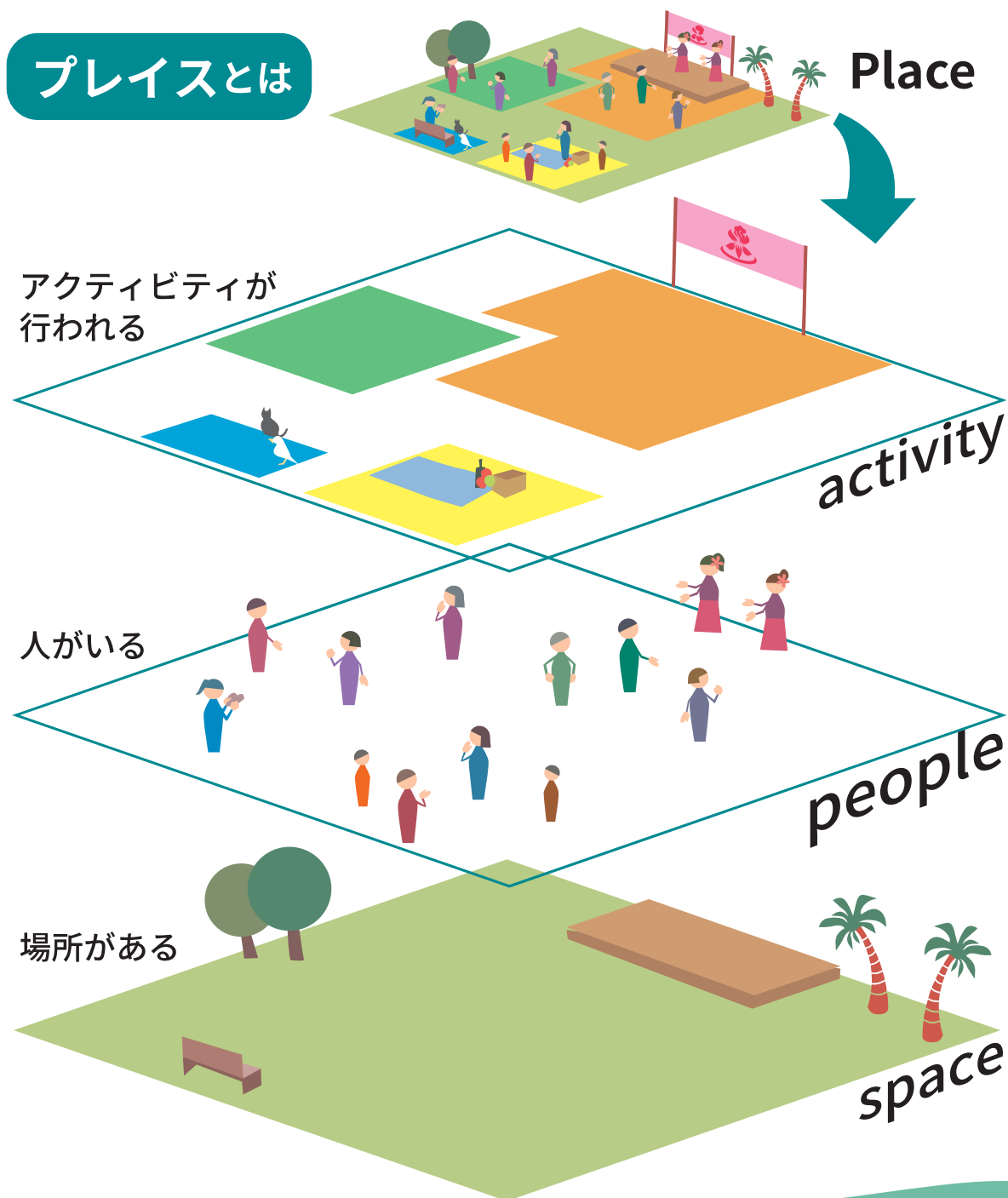
プレイスメイキングとは

「場を作る」という意味を持つ「プレイスメイキング」はアメリカが発祥。ハード面だけではなく、人々の行動を含めた場づくりのことを指す言葉です。

公共の場所をつくるだけでなく、その空間で人々がそれぞれの居場所をつくり、アクティビティが生まれ、新しいビジネスや社会問題の解決などが行われ、まちがにぎわっていく。これが「プレイス」です。

箱だけの建物をつくる時代は終わりました。そこに暮らす人々に深く愛されるようなプレイスをつくり、育てることが大事なのです。

プレイスとは



プレイス！

場所があるだけ
じゃだめなんだ

同じ場所で、それぞ
れの過ごし方ができ
るのが「プレイス」

まちづくりのビジョン

いわき湯本温泉が目指すのは、自分たちがつくったいろいろなプレイスが、あちこちに点在しているまち。たくさんのマイプレイスで行われるアクティビティが、湯本らしいまちの魅力をつくり出します。

みんなのまちづくり から わたしのプレイスづくりへ

マイプレイスを想像・創造できるまち

自分だけのお気に入りの居場所を想像・創造する

いつものカフェや駅前広場のオープンテラス、みゆき山から見る景色など、お気に入りの居場所を見つけることも「マイプレイス」の創造です。

仲間と集まる空間を想像・創造する

ひとりで過ごしたい日もあれば、皆とワイワイ過ごしたい時間もあります。いろいろな過ごし方できるプレイスがあると、たくさんの出来事が起こります。

未来に残したい場所を想像・創造する

自分たちで創造し、みんなで育てたマイプレイスには、たくさんの出来事と出会いが生まれます。そこで過ごした時間が愛着を深め、未来へつながるまちのかたちをつくり出します。

誰かに紹介したいお店を想像・創造する

誰かに紹介したいお店がたくさんあるまちには人が集まります。あんなお店やこんなお店、あったらいいなと思うお店を想像してみましょう。

チャレンジする仕組みを想像・創造する

新しいことを始めたいと思ったとき、それを実現するためには仕組みが必要です。「想像」を「創造」につなげるためのサポートがあるまちに、人は集まってきます。

その場に
参加するだけで
もいいんだって

まずは想像し
てみよう！



新しいまちは どうなる？

湯本のまちの好きなところは？

まちにあったらいいな、と思うものは？

地域に暮らす人として、自分ならまちに対してどんなことができそう？

子どもたちに、どんなまちを残したい？

湯本のまちを見つめ直すワークショップでは、参加者からはさまざまな答えが出ました。この章では、そんなみなさんの声をイラストにして紹介します。

新しい湯本のまちに、どんな風景が広がるのかイラストを見ながら、あなた自身も、ぜひ具体的なシーンを想像してみてください。

それがマイプレイスの創造。
まちづくりへの第一歩です。



各ページのノートは
まだまだ書き込めます
あなたのやりたいこと、教えてください！

マイプレイスのエリア分けとイメージ

ワークショップで上がった意見をもとにイラストを描き起こしました。

実際にこうなると決まったわけではありませんが、ここでの考え方の基本は、実際の計画にも反映されていきます。イラストを見ながら、新しいまちの想像を膨らませてみましょう。

エリア①

駅前広場・交流拠点

駅前が大きく再開発。支所や図書館などが移転してきて温浴施設と合体、次世代モビリティを取り入れた新しいロータリーも設置。

エリア②

駅前緑地周辺

駅前とみゆき山をつなぐエリア。みゆき山に登る大階段と地上の緑地は、ハレの日（特別な行事の日）もケの日（日常）にも、新・湯本の顔として、あらゆる人を迎え入れる。

エリア③

みゆき山

現在は利用者の少ないみゆき山。高台に温浴施設や芝生広場、公衆トイレを設置して、皆が安心して使える憩いの場に。

エリア④

軌道みち

県道と温泉神社をつなぐ通りは、たくさんのお店が立ち並び、歩いて楽しい湯本の目抜き通りのような存在に。

エリア⑤

支所跡地・温泉神社周辺

温泉神社と支所移転後のエリアは、温泉街の新しい中心地として、誰もが訪れる湯本を象徴する場所に。温浴施設も開設。

エリア⑥

表町通り・裏町通り

表町通りは温泉神社の表参道としてにぎわい、裏町通りは個性的かつ実験的なお店がひしめき合う、注目のホットスポットに。

*エリアはこの冊子で紹介しやすくするために設定したもので、行政区域ではありません。

マイプレイスのイメージ

エリア① 駅前広場・交流拠点

現在、湯本駅の西側にはロータリーがあり、平日の朝は電車通学の子どもを送って来る車などで混雑しますが、閑散としている時間帯もあります。

どうすれば魅力あるまちの玄関口になれるのか、皆で考えを巡らせました。



ここでは
どうやって
過ごしたい？

温泉地らしい雰囲気が欲しい
学校帰りにちょっとおしゃべりしたい
浴衣やアロハシャツで歩きたい
お土産が買える場所が欲しい

駅前は、おもてなしの玄関口
仕事帰りの人には「おつかれさま」
旅の人には「ようこそ！湯本へ」

なにが
あったら
うれしい？

多目的室でフラの練習がしたい
マルシェやカフェがあったらだろう
みんなが集まりやすい支所がいいな

交流拠点

駅前は、一人一人の
様々なプレイスとなり
みんなが集まる場所へ



路地スペース



建物と建物のすき間の小さな路地スペース
たまに現れる、非日常空間

ここでは
なにをして
みたい？

小さなお祭りがやりたい
週末はフリーマーケットがしたい
路上ライブができる場所

マイプレイスのイメージ

エリア① 駅前広場・交流拠点



まるで南国に来たみたい
トロピカルな温泉「フラの湯」

ここでは
どうやって
過ごしたい？

フラ×温泉の面白さを知ってもらいたい
温泉と図書館の融合は日本初なのでは？
非日常空間でリラックスしたい



温泉図書館

湯と本の香りで癒される、温泉図書館
それが「湯本」での新しい過ごし方

なにが
あったら
うれしい？

湯上りに本が読めたらいいな
湯本の歴史についての図書コーナーが欲しい
駅前に勉強ができる場所があるとうれしい

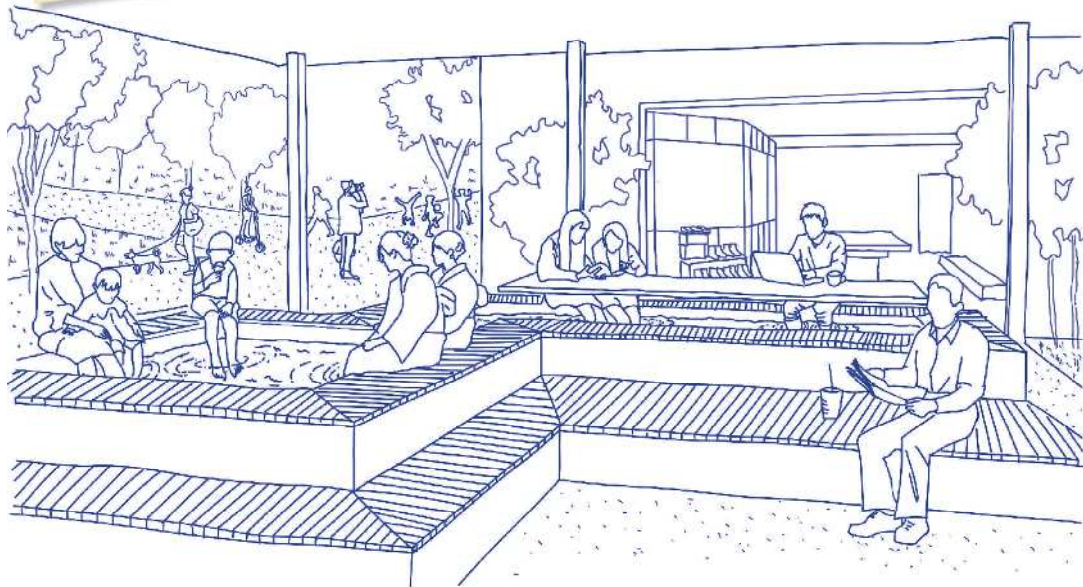
2 新しいまちはどうなる？

観光客もまちの人も一緒に過ごせるといいな
足湯につかりながら勉強ができれば最高
温泉地ならではの※ワーケーションがしたい

ここでは
どうやって
過ごしたい？

※ワークとバケーションを組み合わせた言葉
旅先に滞在しながら仕事をする

足湯×デスク



温泉地の湯けむりを手軽に実感
新しい足湯&デスクでそれぞれの時間を過ごす

人々の交流



このまちに来てくれた人だから
湯本のいいところを見つけて帰って欲しい

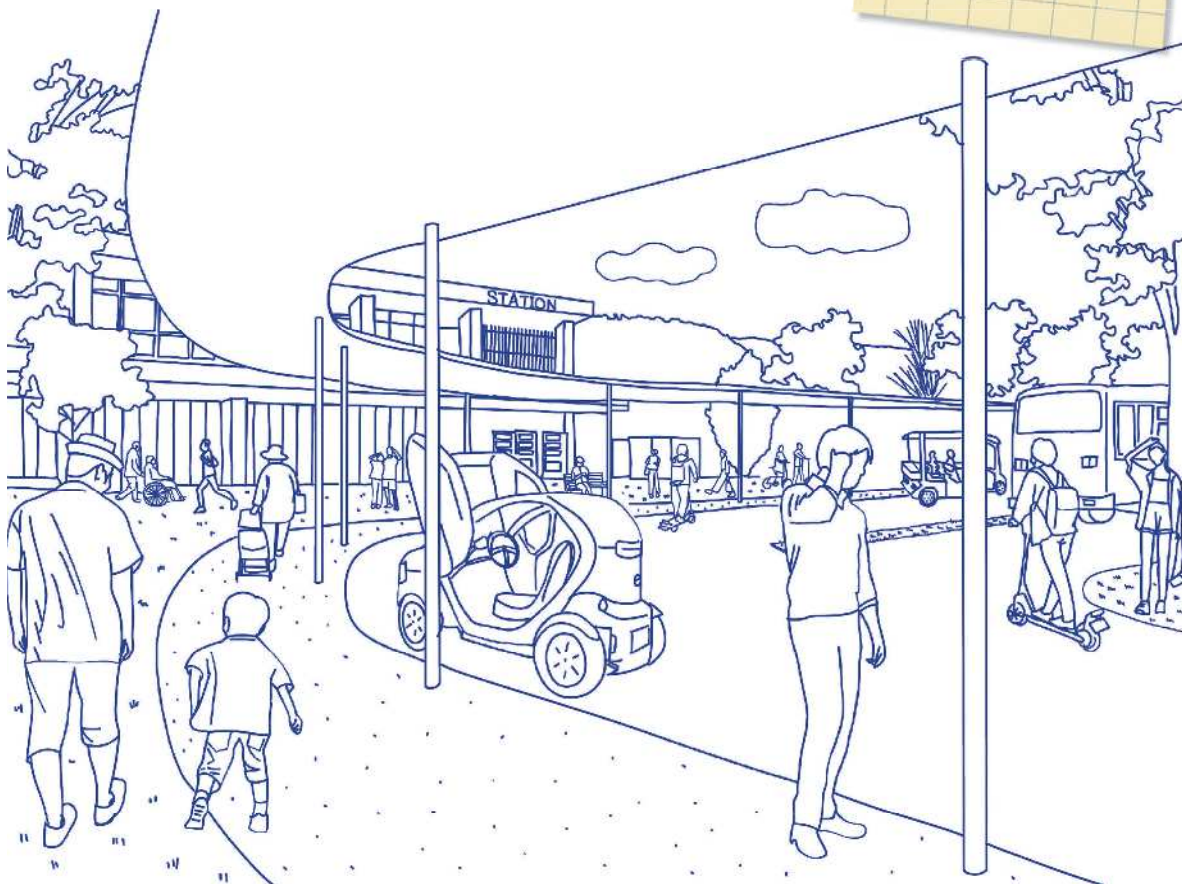
出会う人
よこんで
もらうには？

「湯本の人親切」と本当に思っていて欲しい
困ったことがあったら声をかけたい
いろんな場所で思い出をつくって欲しい
お気に入りのマイプレイスを教えてあげたい

マイプレイスのイメージ

エリア① 駅前広場・交流拠点

交通システム

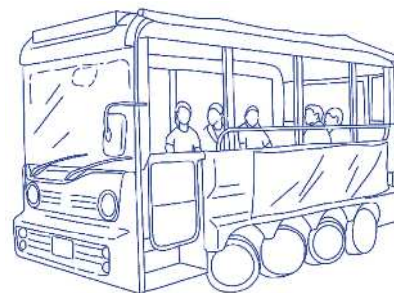


新時代のモビリティが、駅前を人々の交差点に変える

もっと気軽に移動できる交通が欲しい
環境にやさしい交通はないだろうか？
旅行者がレンタルできる交通を増やしたい

なにが
あったら
うれしい？

湯本で導入の可能性がある次世代モビリティの例



グリーンスローモビリティ

時速 20km 程度で走行。小型の電動車で、乗合いバスのように利用できます。いわき駅前周辺では、2020 年から実証実験が始まっています。



超小型モビリティ

1～2人乗りで時速 60km 以下で走行。自動車よりコンパクトで環境性能に優れた、車両です。高齢者や子どもと一緒にちょっと移動したい場合など、地域の手軽な足となります。



電動キックボード

時速 15km 程度で走行。
歩くには少し遠いな……という
距離を移動するのに便利です。

マイプレイスのイメージ

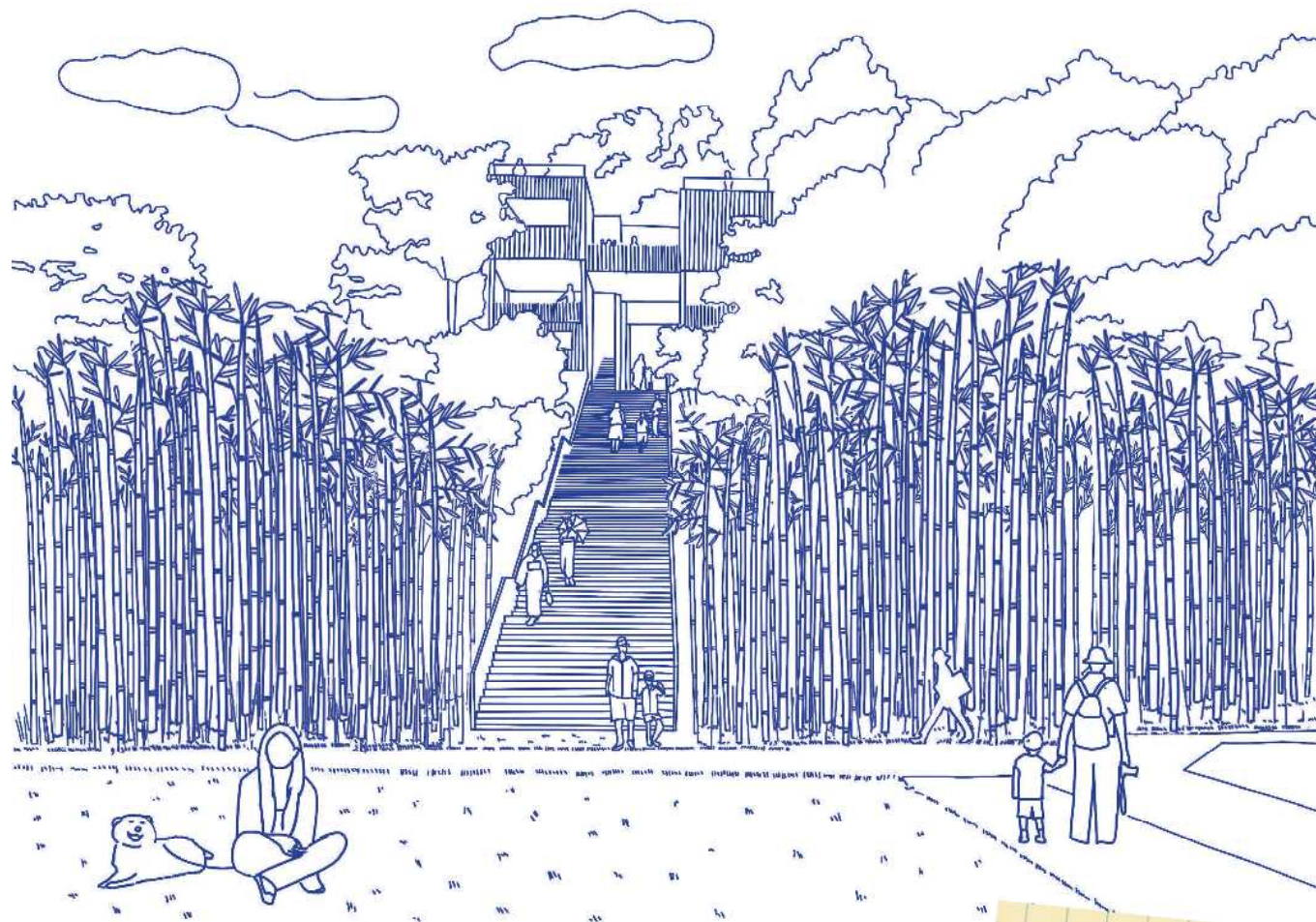
エリア② 駅前緑地周辺

湯本駅前から県道を渡った先には、「^{あき}Aki ち」と名付けられた緑地帯と、みゆき山に登る階段があります。

「湯本といえば、この景色」と全国に知られるような象徴的なシーンが欲しい！そんな期待を含めたイメージです。

湯本温泉の
新スポットは
どんなだろう？

みんなが登ってると登りたくなるかも
写真映えするスポットが欲しい
フラのイベントを見下ろす特等席になるかも



大階段

駅正面、いわき湯本温泉「大階段」は
頂上の温泉へ続く新名所
人々の往来が新たな象徴に

マイブレイスのイメージ

エリア③ みゆき山

みゆき山は、湯本駅を出て正面に見える小高い丘。かつて「見沖山」^{みおきやま}とも呼ばれ、往時は山頂から小名浜の海も望めたとか。

しかしそんな絶好の立地にもかかわらず、現在、利用者は多くありません。

再び皆から愛される憩いの場にするために、将来のみゆき山を想像してみました。

なにがあれば
もっと
使いやすい？

きれいな公衆トイレが欲しい
公園の近くに施設があると安心
軽食や飲み物が買えるといいな

みゆき山



湯本で一番、広い空を満喫

生まれ変わったみゆき山は、もうひとつの時間が流れる居場所

2 新しいまちはどうなる？

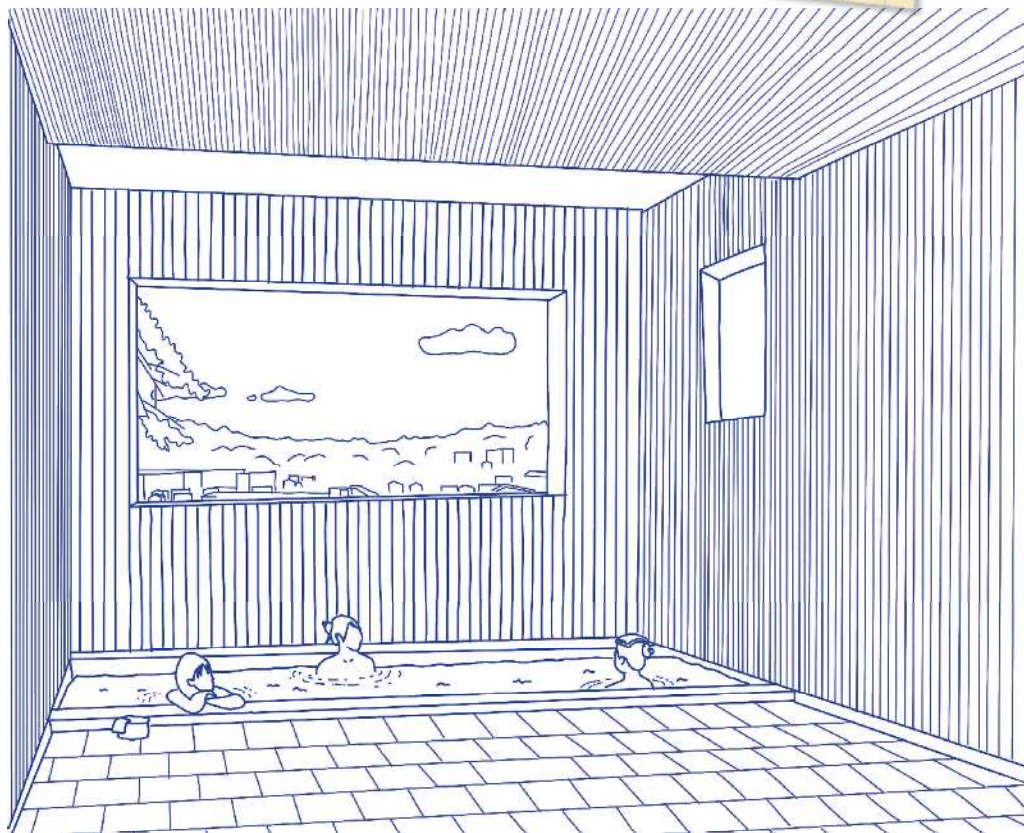
どんな
温浴施設が
いい？

「見沖山」にふさわしい眺望の湯がいい！
高台を活かした露天の湯に入りたい

湯本の空を切り取る
「みゆき山露天の湯」



みゆき山
露天の湯



芝生広場

かけっこ、凧あげ、ピクニック
ゲートボールに盆踊り！
温浴施設前の開放的な芝生広場

お風呂のあと、ゆっくり夕涼み
家族でお花見やピクニックがしたい
子供たちだけでも安全に遊べるといいな
静かに本を読んだり写真を撮ったりしたい

ここでは
どうやって
過ごしたい？

マイプレイスのイメージ

エリア③ みゆき山

こみち
夜の^{こみち}小径



まちを見下ろしながら、静かに過ごす。
ほんのり灯りがともる夜のこみちで夜景を眺める

夜景を見られる場所が欲しい
ひとりでゆっくり散策したい
暗すぎず明るすぎない道だといいな

ここでは
どうやって
過ごしたい？

ここで
どんなことを
したい？

あじさい
山桜、紫陽花、紅葉、雪柳などを眺めたい
みゆき山の頂上から温泉神社へ歩きたい
軽いトレーニングができる道がいい

季節の移り変わりを感じられる
まちなかの自然散策路

散策路



マイプレイスのイメージ

エリア④ 軌道みち

県道から一本脇に入った温泉神社へとつながる道は、歩いて通るにはちょうど良い道幅で、旅館街にも隣接しています。

ここがもっとにぎやかなメインストリートになれば、駅前から神社方面へ移動する人たちをたくさん呼び込めるかもしれません。どんな仕掛けがあれば、お客さんに喜んでもらえるだろう？そんな視点で考えました。

ここでは
なにを
してみたい？

温泉神社まで楽しく歩けたらいいな
浴衣で歩けるような道が欲しい
気軽に立ち寄れるお店をやってみたい
観光客だけでなくまちの人も楽しめる道に



軌道みち

浴衣でアロハで、そぞろ歩きたい！
歩いても休んでも楽しい、ふれあいの小路

マイブレイスのイメージ

エリア⑤ 支所跡地・温泉神社周辺

現在の常磐支所は、駅前に機能を移転させる計画です。その跡地は温泉神社に隣接し、旅館街にも近いので、観光地である湯本のまちではとても良い場所にあるといえます。

しかしここにはカフェのような一定の時間、留まって過ごせる場所がありません。

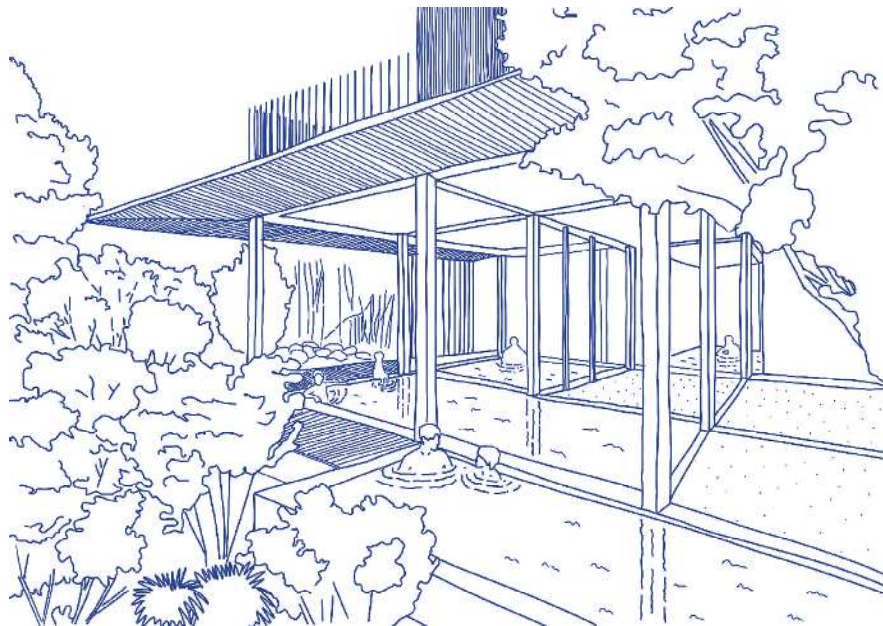
まちなかでゆっくりと時間を過ごすなら、どんな空間が良いか？想像をふくらませてみました。

ここは
どんな場所になるのかな？

温泉神社と温泉宿に近い中心地になりそう
新しいものと古いものが両方楽しめるところ
チェックイン前に立ち寄れるかも
歴史を知ることのできる場所



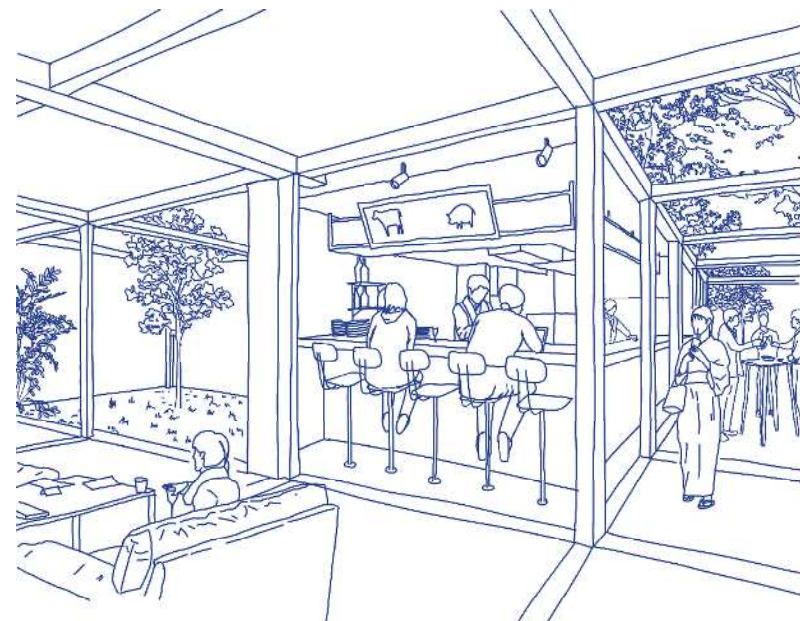
温泉街の真ん中に生まれる、新しいまちの中心地



温泉神社の横に
「温泉神社の湯」



温泉神社の湯



静かな夜の時間を分け合う
大人たちのマイプレイス



例えば温泉神社ブックカフェ
2階にはオープンスペースも

ここでは
どうやって
過ごしたい？

歴史ある森で森林浴×入浴を
温浴施設にカフェ＆バーがあるといいな
神社の参道にブックカフェはどうでしょう
オープンスペースで展示会やイベントを

マイプレイスのイメージ

エリア⑥ 表町通り・裏町通り

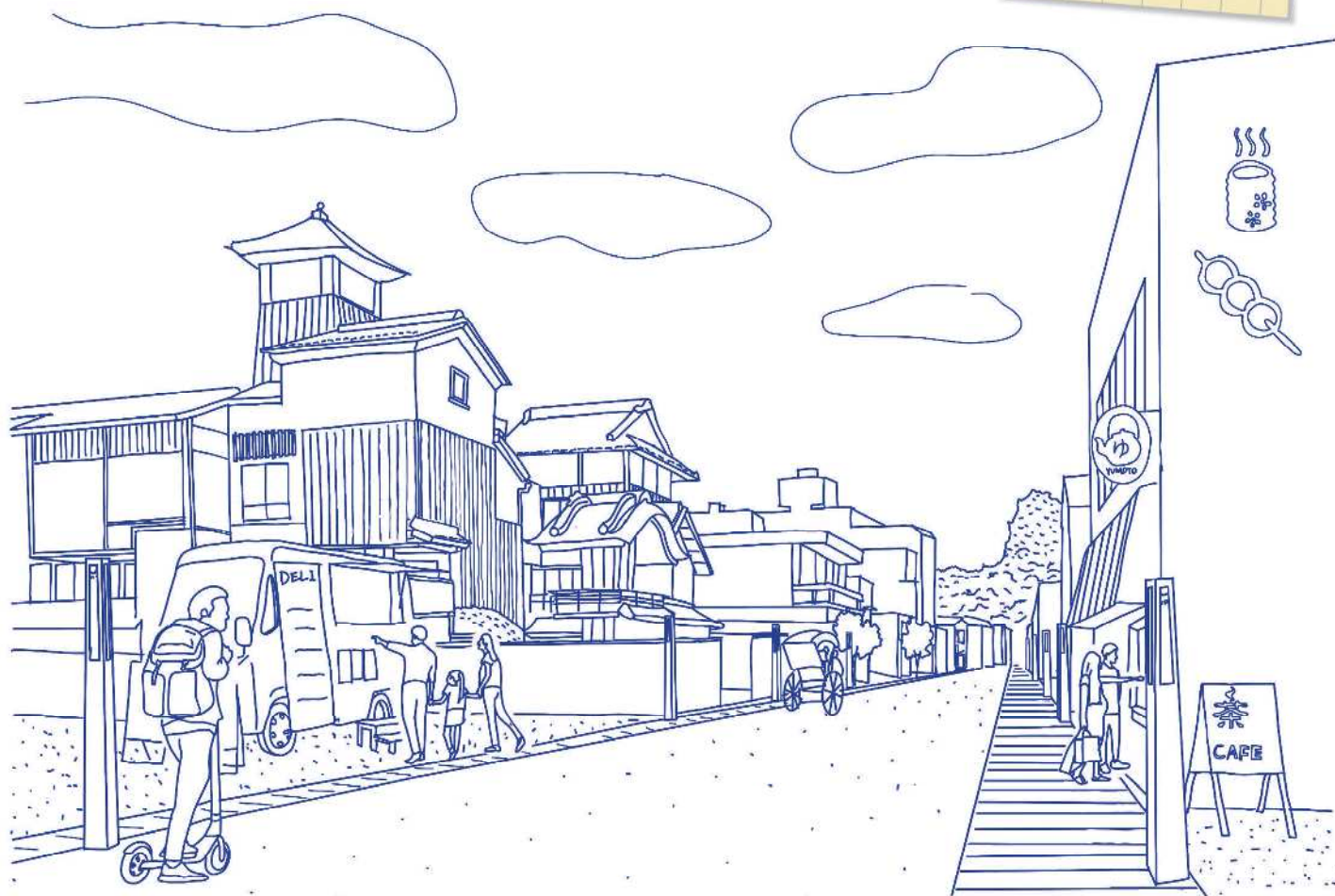
表町通りはかつて商店街・寺町としてにぎわった通り。裏町通りは表町と路地でつながり、夜の街としても活気がありました。

ここでは、すでに実験的な新しい商売、アクティビティの試みはすでに始まっています。このエリアからどんな企画、チャレンジが生まれるのか、自由に思い描いてみました。

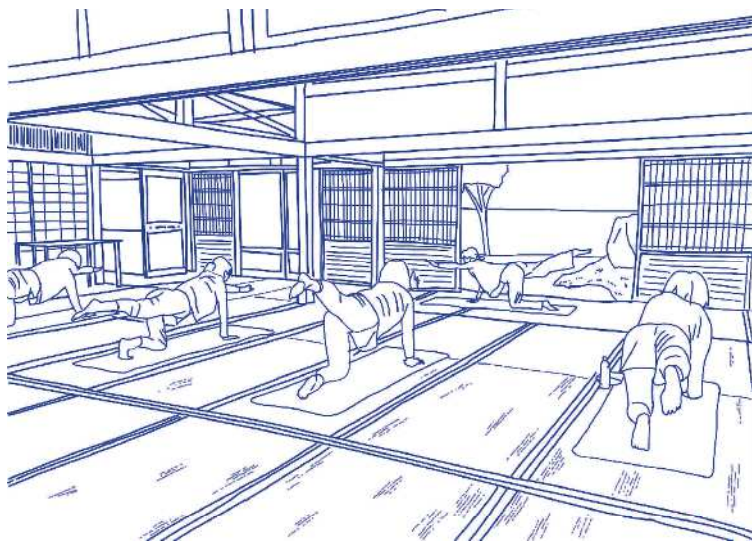
ここは
どんな場所になるのかな？

古い建物や空き地をリノベーションしては？
キッチンカーで新しいビジネスをしたい
若い人や移住する人が新しい事に挑戦する場
新しいまちの景色ができることに期待

表参道



小さなアクションの連続でつくられる
温泉神社の表参道



自分らしい
個性的なマイプレイス
チャレンジする人を
応援するまち

新しい
チャレンジ

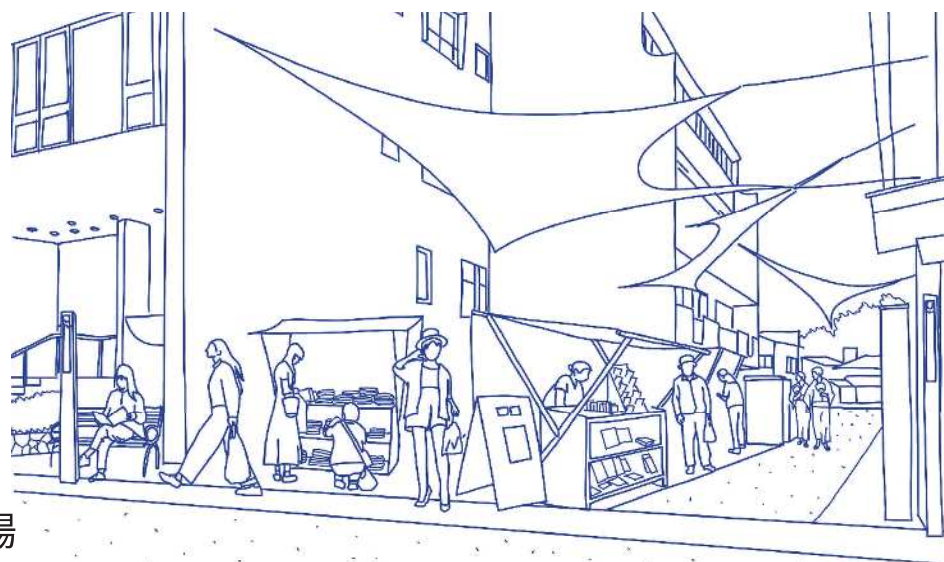


温故知新
歴史と現代が交差する
地域の新しい交流の場

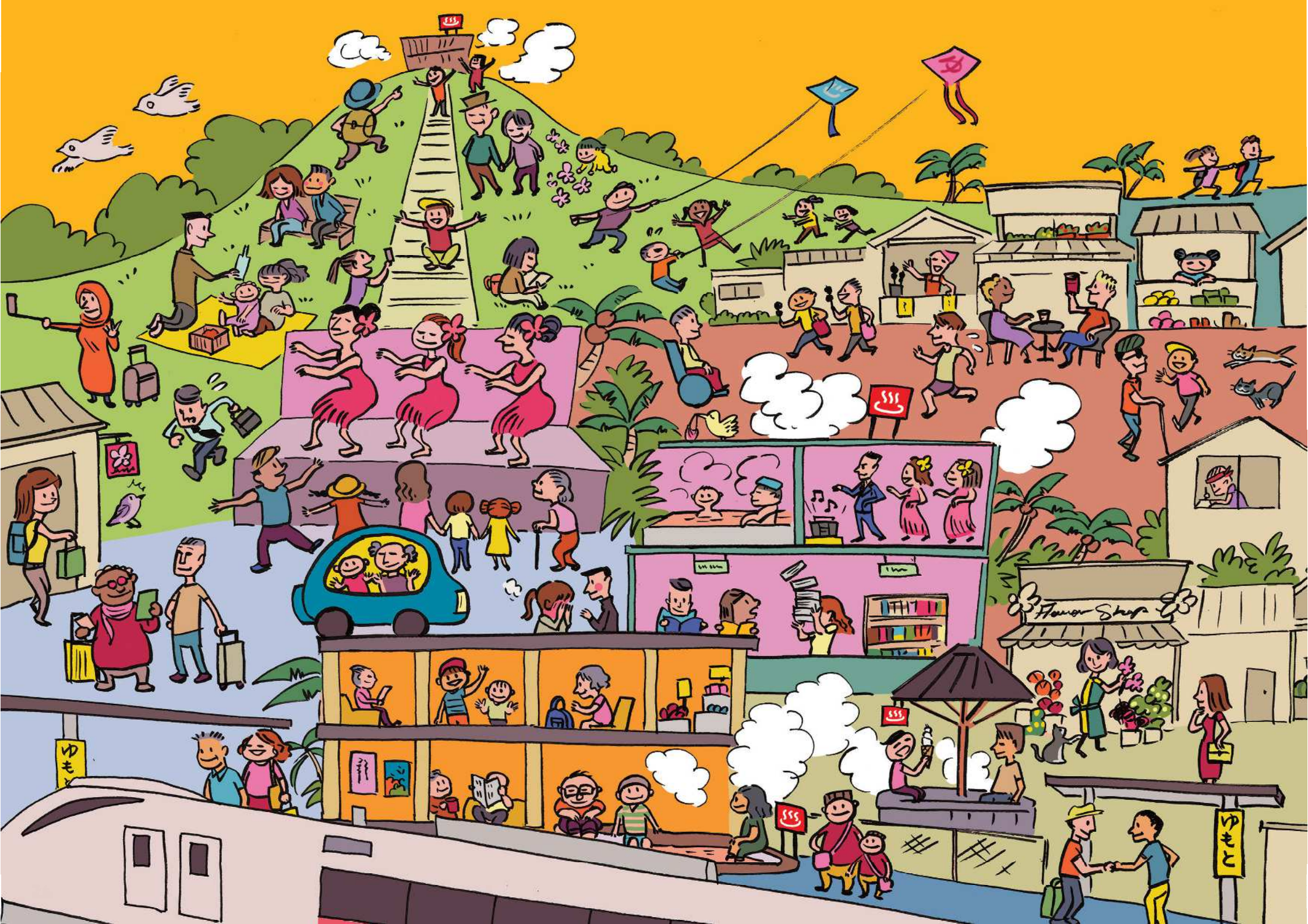
ここ
でなに
に
挑戦したい？

お寺でヨガ！
アートイベントや精進料理の会
小さなお店から始めてみたい
路地で屋台を集めてイベントを
まだ分からないけど、何かチャレンジしたい

空き地や路地は
アクティビティの実験場



いわき湯本温泉には「マイプレイスの想像・創造」
に向けた活動をサポートする、さまざまな仕組み
があります。
ぜひご活用ください。（裏表紙参照）





まちづくりの これまでと これから

湯本のまちづくりは、最近始まったものではありません。

いわき湯本温泉は、奈良時代に開湯したといわれています。以来 1300 年の間に、まちは大きな繁栄と衰退を経験しました。それらを乗り越え、たくさんの人が暮らす場所として続いてきた歴史があります。

今回の新しいまちづくりにつながる活動も、20 年ほど前にスタートしました。

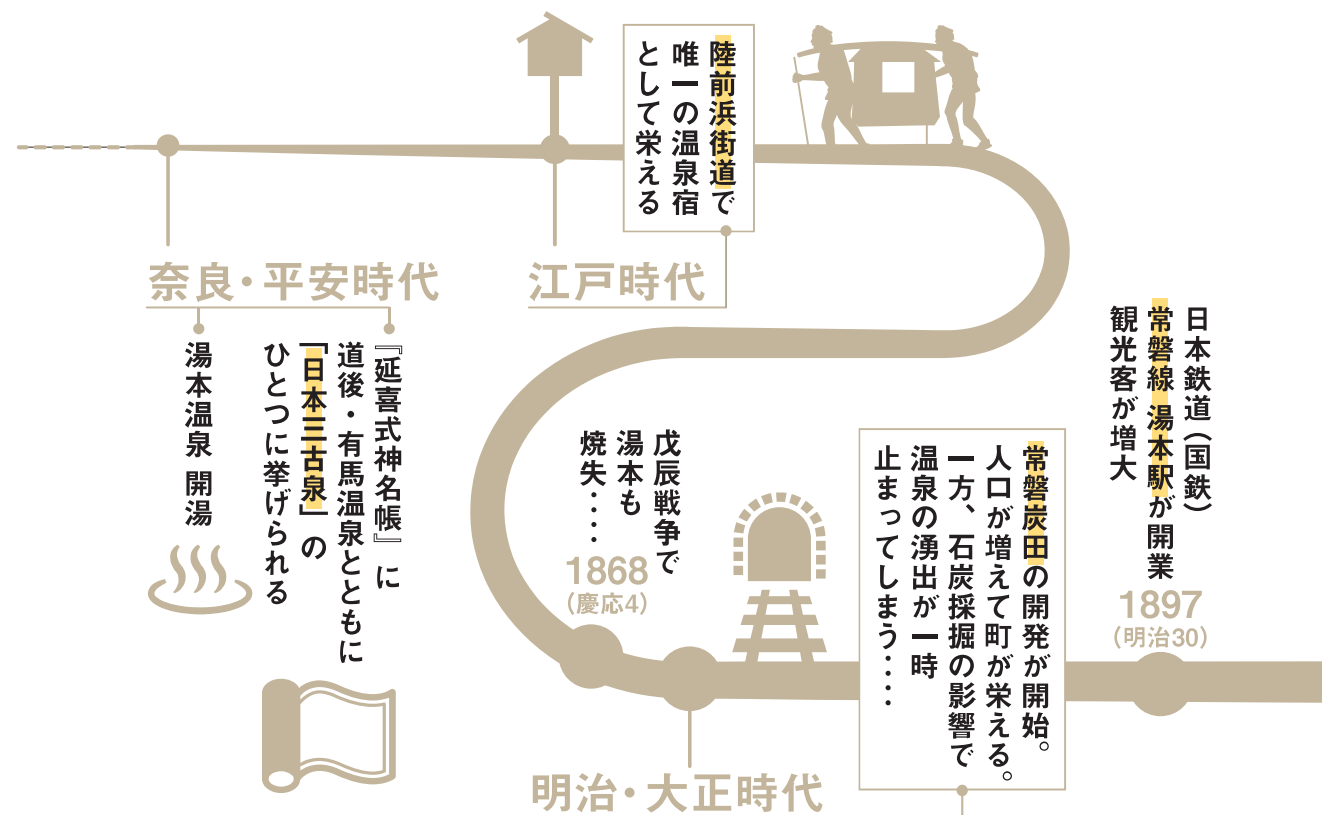
ここでは、湯本のまちの施設の開業や、まちづくりに関わる出来事を抜粋してご紹介します。

※
面白企画創造集団 トコナツ歩兵団 とは

「ニッポンを、セカイを、オモシロく！」を合言葉に結団。観光プロデューサーの団長、渡部祐介を中心に、一線で活躍する空間デザイナー、建築家、アートディレクターなどのクリエイターが在籍。ソフトからハードまでを一貫させたブランディングを得意とし、都市計画、建築設計、プロモーションなどをエンターテインメント的な思考でプロデュースしている。

いわき市での実績

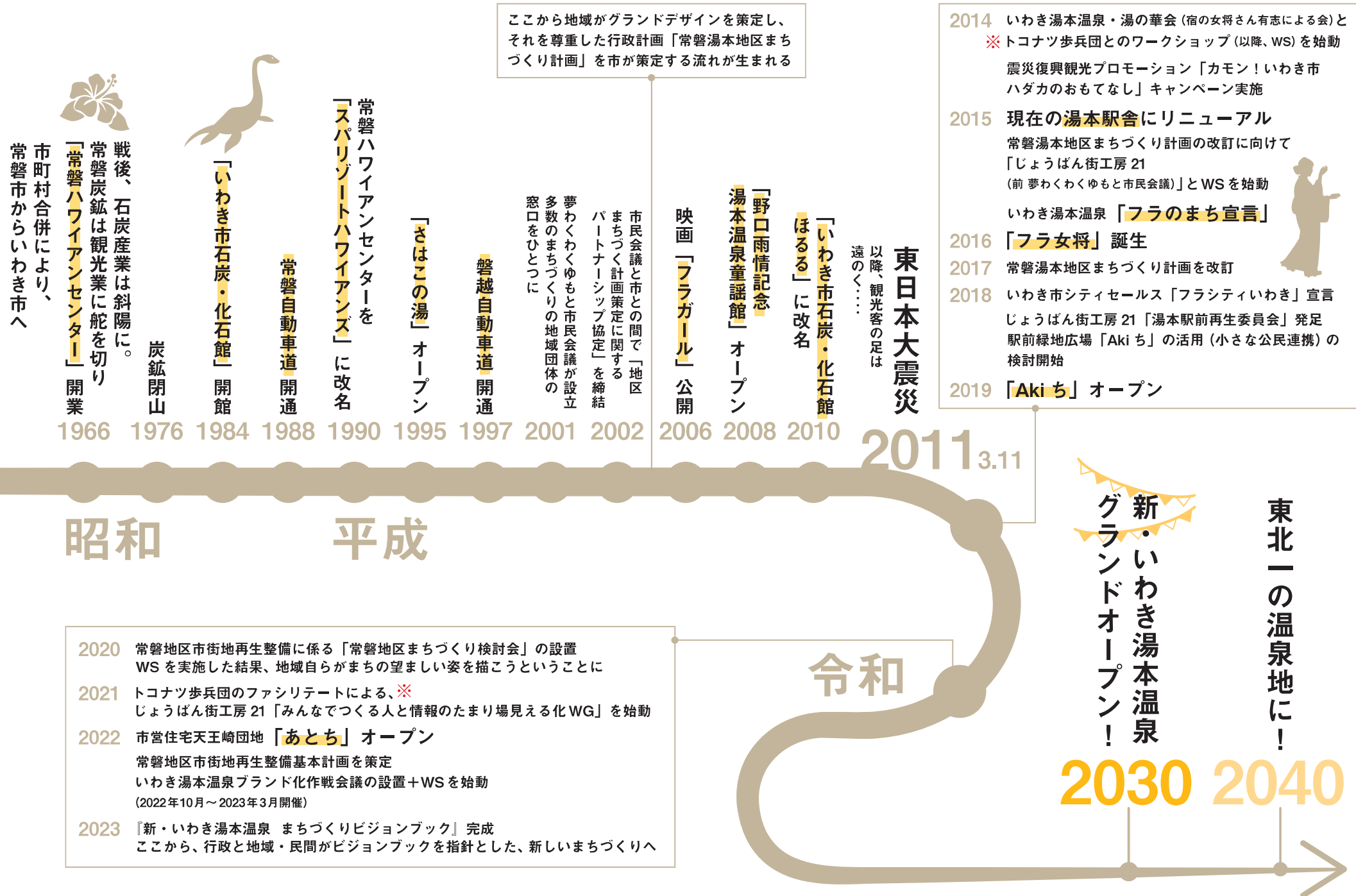
「カモンいわき市！ハダカのおもてなし」（2013）、「フラのまち宣言」（2015）、「フラ女将」（2016）、「フラのまちオンステージ」（2016）、「フラシティいわき」（2018）、「フラシティアウトドア」（2022）等



湯本には、温泉のはじまりにまつわる昔話があります。
佐波古は、三箱／三函／三函とも書かれ、現在でも「湯本町三函」という地名が残っています。
温泉神社の近くにある「鶴のあし湯」は、この伝説に由来しています。

二人の旅人が、ここ佐波古の里を訪れると、傷ついた丹頂鶴が降りてきて、湯気が立ちのぼる泉に浸かっていました。かわいそうに思った二人が傷口を洗ってあげると、鶴は元気に飛び立っていきました。

数日後、巻き物を持った高貴な女人が訪ねて来ました。巻き物には「この佐波古の御湯を二人で開いて天寿を全うし、子孫の繁栄をはかるべし」と記してありました。二人はさっそく、湯本温泉を開きました。



データでみる いわき湯本温泉

アクセス



▶鉄道

- 東京駅 — 湯本駅
JR 常磐線 特急ひたち／約2.5時間
- 郡山駅 — 湯本駅
JR 磐越東線、常磐線／約1.5時間
- 仙台駅 — 湯本駅
JR 常磐線 特急ひたち／約2.5時間

▶車

- 東京(三郷JCT) — いわき湯本 IC
常磐自動車道／約2時間
- 郡山 IC — いわき湯本 IC
東北自動車道、磐越自動車道／約1時間
- 仙台宮城 IC — いわき湯本 IC
東北自動車道、磐越自動車道／約2時間
- 仙台東 IC — いわき湯本 IC
仙台東部道路、常磐自動車道／約2時間

気候 太平洋に面しており、東北地方のなかでは夏冬の寒暖差が少ない温暖な気候です。年間の平均気温は11～15℃で、積雪も少なく、過ごしやすい地域です。

温泉

開湯は奈良時代といわれ、有馬・道後温泉と並ぶ「日本三古泉」のひとつ。源泉は、地下約50mから汲み上げた毎分5tの湧出量を誇る59℃の天然硫黄泉です。泉質は全国的に珍しい【含硫黄-ナトリウム-塩化物・硫酸塩温泉】で、「美人の湯」(美肌作用・解毒作用・末梢血管拡張作用)、「心臓の湯」(血圧を低下させる～動脈硬化、高血圧に効く)、「熱の湯」(高齢者向き～保温効果が高い)等の数々の効能があります。



いわき FC パーク

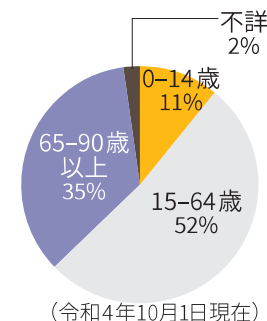
特産物

いわき市では温暖な気候を活かして、多くの農産物が生産されています。ブランド品種としては、いわき苺・いわき梨・サンシャイントマトなどが有名です。また、小名浜などの市内の漁港で水揚げされたメヒカリ・アンコウ・サンマ・ウニ等さまざまな海産物が季節によって楽しめます。



人口

いわき市全体 322,509人
湯本(常磐地区) 32,173人
湯本 世帯数 13,900世帯
(令和5年4月1日現在)



サッカー

いわき FC は、いわき市と双葉郡8町村をホームタウンとするプロサッカークラブ。2012年創設、2022年にJ3参戦1年目で優勝を果たし、見事J2に昇格しました。ホームスタジアムの「いわきグリーンフィールド」は、ここ、湯本にあります！

炭鉱とフラ

湯本の代名詞といえば、炭鉱、そして、フラ。映画「フラガール」の舞台となったのがいわき湯本温泉です。旅館の女将さんたちが着物でフラを踊る「フラ女将」は、全国でも有名になりました。そして2018年には、いわき市全体のシティセールスとして、「フラシティいわき」宣言を行いました。



お祭り

湯本の SOUL

湯本には、たくさんのお祭りがあります。お神輿の出る神社のお祭りから、ひたすら肉を焼いて食べる奇祭もあります。

- | | |
|-----|--|
| 1月 | 金比羅神社例大祭 @金比羅神社周辺 |
| 5月 | さつきまつり @温泉神社周辺 |
| 8月 | 金魚つかみ大会 @ブロンズ通り
やっぺおどり大会 @湯本町一円
縁日広場 @ 宮本米店前
子種神社祭典 @鶴のあし湯広場
ゆながや夏まつり @上湯長谷公園
仮装盆踊り & 花火大会 @表町通り
縁日広場 @鶴のあし湯広場
ミュージアムナイト @ほるる
納涼ビアガーデン @ほるる
成田山盆踊り大会 @成田山境内 |
| 9月 | 浅見水神宮祭典盆踊り
@いわきサン・アビリティーズP |
| 10月 | 月まつり @湯本駅周辺 |

いわき湯本温泉ブランド化作戦会議 メンバー

[委員]

●まちづくり専門家

司令塔／プロデューサー／
ブランディング

渡部祐介（面白企画創造集団トコナツ歩兵団 団長／
株式会社マイロックチョコレーツ 代表取締役）

まちづくり／デザイン／建築

滝口聡司（株式会社 aptp・有限会社アパートメント 代表取締役）

ランドスケープ／景観／まちづくり

奥川良介（日本工営都市空間株式会社 東京支店 空間デザイン部 部長代理／
大阪芸術大学非常勤講師）

●まちづくり組織

薄羽裕一（いわき湯本温泉旅館協同組合理事長 ホテルいづみや 代表取締役）

小泉智勇（じょうばん街工房 21 会長／有限会社マルテツ 代表取締役）

[アドバイザー]

井上直美（一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 会長）

松原兼一（いわき商工会議所常磐地区委員会 副委員長）

渡辺弘（いわき商工会議所公共交通研究会 会長）

その他 必要となる分野のアドバイザー

[サポートメンバー]

「いわき湯本温泉ブランド戦略 地域ワークショップ」参加者をはじめとする、
地域への溢れる想いがある者

基本計画関連施策等の行政担当部署の担当職員

※上記は、本ビジョンブック検討時のメンバーを記載しています。



「いわき湯本温泉ブランド戦略 地域ワークショップ」とは

本ワークショップは、いわき湯本温泉ブランド化作戦会議の主催により、
2022年10月～2023年3月まで、毎月1回、地域住民にも参加を呼びかけて実施しました。

新・いわき湯本温泉 まちづくりビジョンブック PR 版

2023年9月29日 発行

制作

いわき湯本温泉ブランド化作戦会議

制作協力

いわき市

編集

渡部祐介（面白企画創造集団トコナツ歩兵団 団長）

滝口聡司、田畑実希子（株式会社 aptp）

デザイン・イラスト

成富ミヲリ

この冊子についてのお問い合わせ

[行政の窓口]

いわき市都市建設部都市計画課

住所 | いわき市平字梅本21

電話 | 0246-22-7513

メールアドレス | toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

[地域の窓口]

じょうばん街工房21

住所 | いわき市常磐湯本町天王崎33-1

電話 | 0246-43-2757



支援プログラム

詳しくはコチラ▼



いわき湯本温泉には「マイプレイスの想像・創造」に向けた活動をサポートする、さまざまな仕組みがあります。
ぜひご活用ください。

